



せたがや区議会だより

No.269

平成31年(2019年)4月27日

発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27

TEL(5432)1111代表 FAX(5432)3030

<http://www.city.setagaya.lg.jp/kugikai/index.html>

平成31年度予算を可決

第1回 定例会

議決内容

議決した案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から31年度予算案5件を含む41件、議員から2件の案件が提出されました。また、31年度予算案を審査するために予算特別委員会を設置しました。提出された議案のうち議員提出議案1件を賛成少数で否決し、そのほかの議案は全て可決しました。

※本紙に掲載する条例名は略称を使用しています。

●31年度各会計予算

5件

○一般会計

賛成多数 賛成＝公明、立憲社、共産、F行革、希望、生、
減税、虹、SPJ、世田会、無所属
反対＝共産

○国民健康保険事業会計

賛成多数 賛成＝公明、立憲社、F行革、希望、生、
減税、虹、SPJ、世田会、無所属
反対＝共産

○後期高齢者医療会計

賛成多数 賛成＝公明、立憲社、F行革、希望、生、
減税、虹、SPJ、世田会、無所属
反対＝共産

○介護保険事業会計

(全員賛成)

○学校給食費会計

(全員賛成)

―関連記事は6～7ページに掲載

●30年度各会計補正予算

4件

○一般会計(第四次)

(全員賛成)

○国民健康保険事業会計(第一次)

賛成多数 賛成＝公明、立憲社、F行革、希望、生、
減税、虹、SPJ、世田会、無所属
反対＝共産

○後期高齢者医療会計(第二次)

賛成多数 賛成＝公明、立憲社、F行革、希望、生、
減税、虹、SPJ、世田会、無所属
反対＝共産

○介護保険事業会計(第二次)

(全員賛成)

―補正後の予算額は次のとおり。

一般会計 三二六億二九一〇万九千円

国保会計 八五八億五八二万六千円

後期高齢者 二二六億七四六万八千円

介護会計 六九一億八七〇万四千円

●条例の新設

○世田谷遊びと学びの教育基金条例

例

(全員賛成)

乳幼児期からの多様な「遊びと学び」の研究及び実践に係る施策など、教育に係る環境づくり

に資するための基金を設置する。

●条例の改正

21件

○組織条例

(全員賛成)

障害福祉部を設置する。

○手数料条例

(全員賛成)

高度地区の都市計画変更に伴い、建築物の絶対高さ制限に係る特例認定手数料と特例許可申請手数料を定める。

○身近な広場条例

(全員賛成)

使用料及び占用料を改定する。

○地区会館条例

(全員賛成)

守山地区会館(代田6-21-5)

を設置するとともに、梅丘地区

会館の位置を梅丘1-61-16に

変更することなど。

○出張所設置条例

(全員賛成)

梅丘まちづくりセンターの位置

を梅丘1-61-16に、代沢まち

づくりセンターの位置を代沢5

1-15に変更する。

○区民会館条例

(全員賛成)

玉川総合支所の改築に伴い、玉

川区民会館の位置を玉川1-20

1-21及び等々力3-4-11に変

更することなど。

○心身障害者福祉手当条例

(全員賛成)

○児童育成手当条例

(全員賛成)

○ひとり親家庭の医療費助成条例

(全員賛成)

―以上3件は、所得税法の改正に

伴い、必要な規定を整備する。

○放課後児童健全育成事業の設備

・運営基準条例

(全員賛成)

厚生労働省令の改正に伴い、放

課後児童支援員の要件を変更す

る。

○国民健康保険条例

賛成多数 賛成＝公明、立憲社、F行革、希望、生、
減税、虹、SPJ、世田会、無所属
反対＝共産

保険料率を改定することなど。

○地区計画区域内の建築物制限条

例

(全員賛成)

祖師ヶ谷大蔵駅南周辺地区地区

整備計画区域を条例の適用区域

に追加することなど。

○学童クラブ条例

(全員賛成)

若林小新BOP学童クラブの活

動場所を若林5-27-18に、代

沢小新BOP学童クラブの活動

場所を代沢5-11-10に変更す

る。

○保育園条例

(全員賛成)

世田谷保育園の位置を若林5-

27-18に変更する。

○健康づくり推進条例

(全員賛成)

○がん対策推進条例

(全員賛成)

―以上2件は、健康増進法の改正

に伴い、必要な規定を整備する。

○住環境整備条例

(全員賛成)

都建築安全条例の改正に伴い、

長屋に自転車等駐車施設及び廃

棄物等保管場所を設置する際の

規制内容を変更することなど。

○公園条例

(全員賛成)

次のとおり公園を新設すること

もに、身近な広場を区立公園に

位置づけることなど。

〈新設公園〉

名称	所在地
玉川三丁目 ホツと公園	玉川3-32-6
上祖師谷二丁目 ちようちよ公園	上祖師谷2-14-10

〈位置づけの変更〉

新名称(現名称)	所在地
丸子川ひろば公園 (丸子川広場)	野毛2-25-16

〈8ページへ続く〉

会派名等

自 民 自由民主党世田谷区議団
公 明 公明党世田谷区議団
立 民 立憲民主党・社民党区議団
共 産 日本共産党世田谷区議団
F 行 革 F行革世田谷区議団
希 望 希望の会
生 ネ 生活者ネットワーク世田谷区議団
減 税 減税せたがや
虹 レインボー世田谷
SPJ せたがやプロジェクト
世田谷 世田谷無所属
無所属 無所属

公職選挙法の規定により、議員の
寄附行為や時候のあいさつ状など
は禁止されています。

世田谷公園の桜

代 表 質 問

2月20日及び21日の本会議で、5名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

自由民主党世田谷区議団
和田 ひでとし 議員



将来人口動態を見据えた区政運営

質問 持続可能な区政運営に向け、今後訪れる区内人口の減少を見据えた対策が不可欠だ。三世代同居や親族との近居など、子育て世代の定住を促進する施策を展開せよ。

区長 地域コミュニティを活性化するための政策に注力したい。

景気後退に備えた財政基盤の確立

質問 リーマンショックなどの不況時は特別区民税などの減収に伴い区財政が逼迫した。これを教訓に、基金への積み立てにとどまらず一層強固な財政基盤を確立せよ。

副区長 事業経費の削減など、財政の持続可能性の確保に注力する。

実効性ある行財政改革

質問 区は新たな政策課題に対応するための財源を創出する責務があるはずだ。全事業の成果や手法を分析し、廃止縮小も辞さない覚悟で実効性ある行財政改革を行え。

副区長 事業の廃止縮小や改善など、多様な行政経営改革を進める。

児童相談所の移管に係る体制強化

質問 児童相談所の移管に際し、区は人材の確保はもとより、運営経費の財源の担保をとることが重要だ。都との協力体制の構築に向け、各部署との協議に全力で臨め。

区長 子どもの安全と生命を最優先に据え都との体制を築いていく。

区内産業の発展に向けた取り組み

質問 区内事業者の景況感は厳しく、予断を許さない状況であり、東京2020大会後の景気落ち込みも懸念される。区内産業の持続的な発展に向け、経済政策を強化せよ。

副区長 価値と豊かさを創造できる地域経済づくりなどを進める。

若者が活躍する地域活性化策

質問 住宅都市世田谷としての魅力を一層高めるべきだ。若者が地域経済の担い手となるよう、商店街の空き店舗での起業を支援するなど、区内産業の活性化を図れ。

経済産業部長 若い世代が活躍し、暮らし続けられる世田谷を目指す。

公共施設等総合管理計画の改定

質問 区立校体育館の緊急耐震補強工事などの需要増に伴い、公共施設等総合管理計画は実態と乖離している。適切な更新経費を算出し実効性の高い計画に見直せ。

副区長 新たな課題や経費上昇を反映すべく2019年度に計画を見直す。

退職自衛官の危機管理監への配置

質問 災害に強いまちづくりは自治体の責務だ。全国で多発する大規模自然災害を踏まえ、災害対策に精通している退職自衛官を危機管理監として早急に配置せよ。

危機管理室長 総合的見地のある人材活用を含め体制構築に努める。

地区防災計画の区民周知の徹底

質問 地区の防災力を高めるためには区民一人ひとりの防災意識の向上が不可欠だ。防災塾を通じて地区防災計画の検証に努めるとともに、住民への周知を徹底せよ。

危機管理室長 リーフレットの配布や防災塾への参加を働きかける。

高齢者の在宅生活の介護基盤強化

質問 高齢者の在宅生活を支える介護基盤の強化が急務だ。北沢を初めとする小規模多機能型居宅介護施設の未整備地域では多様な手法を駆使し早急に整備促進を図れ。

高齢福祉部長 公有地活用や整備費補助による民有地整備も進める。

10連休中の行政サービスの周知

質問 天皇の即位に伴い2019年のゴールデンウィークは10連休となる。連休中の区民生活に支障が出ないよう、窓口の開設日時や休日保育の実施日などの周知を徹底せよ。

政策経営部長 窓口や施設の開設、休業日などの周知を徹底する。

教育関連経費の拙速な負担軽減策

質問 区が示した給食費の負担軽減策は食材料費を保護者負担とする国の方針と逆行する。幼児教育無償化と整合を図らずに、拙速に31年度予算に計上した理由を示せ。

副区長 子育て支援策として教育における保護者の負担軽減を図る。

公明党世田谷区議団
諸星 養一 議員



幼児教育の全面無償化

質問 国は幼児教育無償化の動きとして副食費の免除対象世帯を拡大予定だ。国の動向を踏まえ区は保護者のさらなる負担軽減に向け、食材料費の全面無償化に踏み切れ。

区長 将来の財政負担も踏まえ、関係者などの意見も聞き検証する。

学校給食費無償化の丁寧な周知

質問 所得制限つきではあるが、区が学校給食費無償化を31年度予算案に反映したことを評価する。無償化の対象が中間所得者層までとなることを保護者へ周知せよ。

教育長 全保護者に外国語版も含め案内チラシを配布し周知する。

新BOP学童クラブの時間延長

質問 区は、新BOP学童クラブの運営時間延長に係るモデル事業を5つの区立小で実施する予定だ。モデル実施後、さらに拡充せよ。

子ども・若者部長 モデル事業を検証し、今後の展開を明らかにする。

夜間保育を行う認可保育園の開設

質問 夜間保育に対応できる認可園の整備が急務だが、区は休日保育の実施園を2019年度に拡充する一方で、夜間保育の具体策は示していない。開設に積極的に取り組め。

保育部長 夜間保育のあり方の検討を重ね2019年度中に方向性を示す。

姉妹都市提携の拡大

質問 小中学生の国際交流の機会を拡充すべきだ。区が進めているフィンランドや台湾などの友好交流を、教育分野での交流も踏まえた姉妹都市提携へ発展させよ。

生活文化部長 市民交流を発展させ自治体交流のあり方を検討する。

入居支援事業の対象拡大

質問 区は国の補助を活用した家賃低廉化補助事業を始めたが、成約数はわずか1件だ。活用拡大に向け、対象をひとり親家庭だけでなく高齢者や障害者へも拡大せよ。

都市整備政策部長 制度や運用面での課題を国や都に対し伝えている。

認知症者支援に係る条例の制定

質問 我が党は大介護時代の到来を見据え、認知症者支援に係る条例を制定するよう再三訴えてきたが、区の積極的姿勢が見られない。条例制定への区長の決意を示せ。

区長 関係者の意見を広く取りまとめ、条例制定への歩みを進める。

映像発祥のまち世田谷の推進

質問 区にはサザエさんなどのゆかりのあるキャラクターが多いが、十分生かしていない。映像発祥のまち世田谷として当該資源を生かした観光戦略を世界に発信せよ。

経済産業部長 キャラクターと連携したPRなどに早急に取り組み。

建設業の人材確保支援の充実

質問 建設業での人材確保が急務となる中、区の就労支援事業を通じて建設業に就職する若者は少ない。仕事の魅力を積極的にPRするなど、人材確保支援を充実せよ。

経済産業部長 建設業の人材確保に向け積極的に取り組んでいく。



米国ホストタウン事業「ハナミズキの苗木植樹による交流プログラム」

本文中で使用している省略表記

保育部長 〓 保育担当部長
清掃一組 〓 東京二十三区
清掃一部事務組合
財調制度 〓 財政調整制度
東京2020大会
〓 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会
会

支所 〓 総合支所

世田谷区民会・社民区議団
風間 ゆたか 議員



「RE100」実現に向けた宣言

質問 エネルギー施策への区民理解を一層進めるためには推進目標の設定が必要だ。100%再生可能エネルギーでの事業運営を目標に掲げる「RE100」自治体を宣言せよ。

区長 自治体版「RE100」の実現を目指し、しっかりと取り組む。

フリーランサーへの支援充実

質問 民間の副業解禁の拡大により区内でもフリーランサーの増加が見込まれる。フリーランサーが事業を拡大することによる雇用の創出を見据え、支援策を充実せよ。

副区長 法人化などの支援を充実し、新たな雇用の創出につなげる。

参加と協働で進める国際化の推進

質問 国際交流を文化財団に丸投げする区の姿勢は容認できない。参加と協働で国際交流を進めるため、担い手としての育成も視野に、学生団体やNPOなどに委託せよ。

生活文化部長 担い手の育成に向け財団内に専管組織を新設する。

大災害に乗じた犯罪への対策

質問 大規模災害の混乱に乗じた犯罪への対策を強化すべきだ。避難所での性犯罪防止策や在宅避難者への注意喚起などに取り組み。

危機管理室長 地域コミュニティを通じて対策や啓発に取り組む。

保育待機児解消計画の見直し

質問 現在の区の保育施設整備目標では2020年4月の待機児解消は不可能だ。整備数を大幅にふやすのが難しいならば、2021年の解消実現に向けた現実的な計画を示せ。

保育部長 2020年4月の待機児解消を目指して全力で取り組んでいく。

区立校での体罰防止の推進

質問 教員による児童生徒への体罰や言葉での暴力は、いかなる状況下であっても許されない。区立校での体罰防止に全力で取り組め。

教育政策部長 児童生徒を尊重する教員の人権意識を高めていく。

日本共産党世田谷区議団
中里 光夫 議員



区民の暮らしを守る区政の展開

質問 国保料や介護保険料の値上げなど、社会保障の後退により区民生活はますます厳しさを増している。区政は何に取り組むか。区民のくらしに対する認識はどうか。

区長 区民の暮らしと福祉の前進に向け、先頭に立って取り組む。

介護基盤の整備目標の引き上げ

質問 高齢者人口は今後も増加が見込まれており、現状の区の特養ホーム整備計画では不十分だ。介護基盤の整備目標を引き上げよ。

区長 区民ニーズを十分把握し必要に応じて整備目標見直しを図る。

子どもを最優先で守る区政

質問 行政が虐待を把握していないから児童の命が失われる悲痛な事件が野田市で起きた。これを教訓に、区政全体で子どもの命を守ることを最優先にした体制をつくれ。

区長 子どもの命と人権を最優先に守るまちの実現に向け取り組む。

従来の枠を超えた産業政策を

質問 消費税増税で消費は落ち込んでおり中小企業や商店街は衰退してきた。個店への支援を含め従来の枠を超えた産業政策を講じよ。

副区長 区民生活を支える区内産業の発展と労働環境の充実を図る。

行政経営改革への区長の考え方

質問 行政経営改革は、区民負担増や福祉サービスの切り捨てでなく、効率的な区政運営と国への働きかけで新たな財源を作る努力を進めることだ。区長の考えを示せ。

区長 自治の推進と独自性ある自治体経営の確立に向けて進める。

住民自治の発展に向けた条例制定

質問 区は地域行政制度の条例化を検討中だ。本庁と地域と地区の位置づけだけでなく、地域で問題を解決する体制構築や地域の声を区政に反映する仕組みを盛り込め。

地域行政部長 地域一体でまちづくりに取り組む姿勢を明確にする。

代 表 質 問



代表質問、一般質問の模様を
ホームページで録画配信しています。
世田谷区議会 議会中継 で検索！

無所属世田谷区議員
大庭 正明議員



外環道式典を欠席した区長

質問 区長が1月の外環道式典を欠席した真の理由は、同日に開催された共産党の会合への出席にある。公私混同して公務よりも選挙対策を優先したということか。

総務部長 国の依頼時点ではかの区事業への出席を調整済みだった

質問 区が国保料催告書の金額を誤ったまま送る不祥事が起きたが、区長は招集挨拶で言及しなかった。こうした無責任な姿勢が職員に影響し不祥事を招いたのではないか。

区長 大変申しわけなく区政の責任者として重く受けとめている

質問 児童相談所移管への区長の覚悟

質問 児童相談所の移管を受ければ子どもの生死に直結する重大な判断を区が行うこととなる。無責任な政治姿勢で行政の劣化を招いた区長にその重責を果たせるのか。

区長 強い決意とリーダーシップを持って設置と運営に取り組む

質問 児童相談所移管は地方分権を一層進める好機だ。児童相談所関連経費の都区財調制度での算定を実現し、教員の人事権移譲などさらなる分権の推進につなげよ。

副区長 23区の実情に合った制度を目指す視点で財調協議に臨む

区長の国政復帰の可能性

質問 区長に今夏の参院選立候補の依頼があったと聞く。「何度でもよみがえる男」として国政に復帰するまさかの事態はあり得るのか。

区長 区政の充実に全力を傾ける

区長の政治姿勢の改善

質問 区長の公私混同と無責任な行動が職員に悪影響を与え近年の不祥事頻発を招いたことは明白だ。区長は猛省し、政治姿勢を改めよ。

一般質問

2月21日及び22日の本会議では、31名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

阿久津 皇議員

(自民)



砧地域の交通不便解消策の推進

質問 砧地域の交通不便解消に向けて行うワゴン車による実証運行は、区内の交通不便地域対策のモデルとなる。採算性確保に工夫を凝らし本格実施へ確実につなげよ。

回答 地域と協働して実証運行に向けた取り組みを全力で進める。

社会的養護の受け皿の拡充

質問 児童養護施設や里親などの社会的養護の受け皿が不足している。クラウドファンディングなどにより財源を確保し、社会的養護が必要な子どもの支援を充実せよ。

回答 広い視点からさまざまな可能性について検討していきたい。

子育て支援事業縮小の代替策

質問 区は家事援助などを行うさんさんサポートを縮小方向で再構築する予定だ。育児不安の予防に資する同事業を見直すならば子育て利用券拡充など代替策を講じよ。

回答 再構築に伴う周知に合わせ、子育て利用券の利用を呼びかける。

中村 公太朗議員

(立民社)



最新技術の活用による業務改善

質問 区がロボットを活用した勤務時間計算の試行やAIを活用した保育園入園選考の検討などを始めた点を評価する。これらの取り組みを確実に業務改善につなげよ。

回答 見直すべき業務を抽出し、全庁を挙げて業務改善を進める。

適正な競争性が働く入札制度改革

質問 30年の談合発覚後、区が談合抑止力強化に取り組み建築工事の落札率は顕著に下がったが、依然高い業種が散見される。適正な競争性確保に向け一層対策を行え。

回答 抑止力強化と競争性向上に向け、入札制度の改善に努める。

新設する教育関連基金の活用方法

質問 新設予定の基金の使途が海外派遣に参加する子どもに限定されるならば、参加できない子どもとの格差拡大を招くだけであり反対だ。派遣枠拡大などに活用せよ。

回答 多様な観点から効果的かつ柔軟な活用を検討する。

桜井 稔議員

(共産)



魅力ある三軒茶屋のまちづくり

質問 トレンドとレトロが調和していることが三軒茶屋の大きな魅力だ。まちづくりの際は、商店街の昔ながらの店舗と新規参入店舗が共存できるよう支援を強化せよ。

回答 関係所管で連携しながらまちの魅力の継承と強化に取り組む。

通学路での交通事故の再発防止

質問 30年12月の桜町小児童の交通死亡事故は歩道がない道路で起きた。痛ましい事故の再発防止に向けガードレールを設置するなど、安全対策の強化に早急に取り組め。

回答 学校や関係機関とも連携し、通学路の安全対策向上に努める。

都営住宅の住戸面積の拡大

質問 新町の都営住宅の建てかえに際し、高齢の単身者から現状の34㎡の1DKより広い住戸を望む声がある。この声を踏まえ、単身者の基準を見直すよう都に求めよ。

回答 都から世帯人数に応じた決めているとの回答を得ている。

すがや やすこ議員

(SDJ)



キャッシュレス化の推進

質問 東京迎大会でのインバウンドは区内産業の活性化の好機だ。観光客の利便性向上に向け、QRコードによるキャッシュレス決済導入に商店街と連携して取り組め。

回答 キャッシュレス決済の普及状況を注視しながら検討していく。

就学援助制度の申請率の向上

質問 保護者の教育における経済的な負担軽減を図る就学援助制度は申請率が約50%しかない。申請率向上に向け、保護者に直接案内するなど周知方法を工夫せよ。

回答 よりわかりやすい案内文を作成し、十分な周知に努める。

医療と連携した児童虐待防止体制

質問 成育医療基本法の制定により、医療機関と連携した児童虐待防止体制の強化が期待される。区立校での健診時など医師と連携した虐待防止の取り組み状況を示せ。

回答 虐待の懸念があれば学校医と学校長が連携して対応している。

石川 ナオミ議員

(自民)



区道の無電柱化の推進

質問 区道の無電柱化は29年度末時点で道路延長104km中約12kmしか進んでいない。区民を初め東京2020大会観光客の安全性と快適性の確保に向け無電柱化を一層推進せよ。

回答 都や電線事業者と協議を進め新技術導入検討の深度化を図る。

部活動支援員の確保策の工夫

質問 部活動で教員のかわりを担う部活動支援員の配置実績は29年度46名にも上った。これに満足せず、教員の負担軽減に向け大学などと連携し一層の確保に努めよ。

回答 区内大学とより連携するなど工夫し、引き続き確保に努める。

消費税率軽減税率制度の円滑な導入

質問 10月からの消費税率増税に合わせて導入される軽減税率制度により、小売店などはレジの変更などの対応に追われる。円滑な制度の導入に向け、商店街を支援せよ。

回答 税務署などと連携しセミナーを初めとした支援の強化を図る。

河野 俊弘議員

(自民)



若者の生きる力を育む取り組み

質問 若者の生きる力を育むためには、主体的に行動し、成果を生み出したことを実感できる機会が重要だ。若者の区政参加を促進し、意見を積極的に反映せよ。

回答 若者の力や声が区政に生かされるよう、一層取り組んでいく。

三軒茶屋での3つのかけ橋の実現

質問 三軒茶屋の再開発は南北地域の回遊性、世代間交流、古きよき世田谷の継承という3つのかけ橋を築き、大都市機能を持たす最後のチャンスだ。実現に尽力せよ。

回答 3つのかけ橋づくりも踏まえ、具体的な取り組みを検討する。

たばこ条例の周知強化

質問 区はたばこ条例を策定し、喫煙場所を厳しく限定しているが、区民に浸透していない。たばこ販売店の協力を得て購入者に啓発品を配布するなど、周知を強化せよ。

回答 たばこ商業協同組合などの協力を得て可能な対応を検討する。

上川 あや議員

(虹)



通学の危険回避に冷淡な区の姿勢

質問 区は区民の駅ホームからの転落死亡事故を受け、視覚障害者の通学に移動支援を認めたが、通学時の危険回避に善処を求めても未だ進展がない。早急に対応せよ。

回答 早急に対象範囲などを確認し、周知も含め速やかに対応する。

小児がん治療後の再接種に助成を

質問 骨髄移植を受けると予防接種の効力は失われてしまう。抗がん剤の投与でも同様の可能性があるというが再接種に保険は利かずに家族の負担は重い。助成せよ。

回答 再接種の経済的負担の軽減に向けた仕組みづくりを検討する。

区の診断料助成は94%が対象外

質問 障害者手帳取得にかかる診断料が福祉制度の入口のハードルになっている。区はこれに助成しているが区内医師会の指定医のみが対象で94%は支援外。是正せよ。

回答 区内での申請状況の分析などを行い支援のあり方を検討する。

たかじょう 訓子議員

(共産)



都営住宅建てかえ後の余剰地活用

質問 都営烏山アパートの建てかえに伴い生じる余剰地を活用した施設の整備が予定されている。都と連携し、地域住民からの要望が強い高齢者施設の整備を実現せよ。

回答 都に要望するとともに、地域性を考慮し施設内容を検討する。

必要な人に支援が届かない要因

質問 区の実態調査から、生活に困窮するほどサービスを利用していない傾向があることがわかった。必要な人に必要な支援が届かない要因をどう捉えているのか。

回答 生活に追われて必要性を認識できないことなどが挙げられる。

教員の多忙化解消

質問 教育の充実には、教員がよりよい授業を行うための準備や教材研究を行う時間の確保が必要であり、そのためには教員の多忙化解消が急務だ。区長の認識を示せ。

回答 授業の準備や教材研究を十分行える環境整備が責務と考える。

田中 みち子議員

(生ネ)



女性の仕事と子育ての両立支援

質問 復職意欲はあるが、育児との両立に悩みを抱える女性が多い。復職希望者と企業ニーズが一致するよう、時間や場所など柔軟な働き方が可能な環境整備を支援せよ。

回答 多様な働き方を後押しする環境の整備を促進していく。

虐待の連鎖を断つ支援への認識

質問 設置予定の児童相談所が家族の再統合のために必要な役割を果たせるかが重要だ。親への更生プログラムや地域と連携した支援の実施に対する区長の見解を示せ。

回答 再統合のプログラム開発では地域資源の十分な活用が肝要だ。

子ども条例の一層の周知

質問 2019年は子どもの権利条約批准後25周年の年となる。この機に、子どもたちの生きる権利や育つ権利などの保障を理念に掲げた子ども条例を世代を問わず幅広く周知せよ。

回答 次期子ども計画策定での情報発信の機を捉え広く周知を図る。

加藤 たいき 議員
(自 民)



区立校のICT環境整備のあり方

【質問】 区は家庭からパソコンなどを持参し授業に活用するBYODの視点を取り入れるとしたが、持参できない子どもとの格差を生むため反対だ。区が全員分用意せよ。

【答弁】 学校にある端末も有効活用しながらICT環境整備を進める。

保育園の入園選考の改善

【質問】 育休延長要件である不承諾通知を得るには認可園に申し込む必要がある。真に保育を必要とする家庭が入園できるよう落選を望む家庭を把握し選考方法を改めよ。

【答弁】 真に保育を必要とする保護者が入園できる制度を検討する。

世田谷区民会館整備のあり方

【質問】 本庁舎整備に際し、区民会館を改築すれば耐用年数は65年だが、区が示した改修案では耐用年数は30年程度であり将来にツケを残すことになる。改築に変更せよ。

【答弁】 ホールの保存再生がさまざまな課題への最適解と考えている。

桃野 よしふみ 議員
(F 行 革)



「ブラック校則」の改善

【質問】 さきの議会で、生徒の髪の長さや下着の色などを規定した区立中の「ブラック校則」は人権侵害の懸念があり、即刻改めるよう指摘した。改善の見通しを示せ。

【答弁】 身だしなみの制限などの必要性の検討を校長会で周知した。

区営住宅不正入居への強い姿勢

【質問】 破産法には悪意で加えた不法行為に基づく損害賠償請求権は免責されない旨の規定がある。区営住宅に不正入居した区職員に同規定に基づく損害賠償請求を行え。

【答弁】 区への積極的な善意を立証できる状況になく、法的に難しい。

全区立中の制服自由選択制の導入

【質問】 区は生徒が制服を選択した場合は個別に相談することとしているが、相談は性的マイノリテ

佐藤 美樹 議員
(希 望)



グリーンインフラ促進の目標設定

【質問】 グリーンインフラは気候変動に対応でき持続可能な社会の構築に有用だ。31年度予算案で示すグリーンインフラの促進では事業目標を数値で示すなど可視化せよ。

【答弁】 まずは取り組みを進め目標設定のあり方を検討していく。

児童相談所間の情報共有の徹底

【質問】 児童虐待が疑われる家庭の転出入では児童相談所間の情報共有が重要だ。児童相談所の移管では転入者が多い当区の現状を踏まえ十分な引き継ぎ体制を構築せよ。

【答弁】 情報共有徹底の全国ルールや職員の体制を整え万全を期す。

重点政策の成果指標のあり方

【質問】 新実施計画の推進状況の成果指標は客観性のある指標で示すべきだ。主観性の強い区民アンケートで重点政策の進捗を図ることは信憑性に欠けるため見直せ。

【答弁】 事業改善に取り組む中で成果指標の有効性を検証する。

菅沼 つとむ 議員
(自 民)



特養ホームの整備推進

【質問】 高齢者人口がふえる中、区内には約100人もの特養ホーム待機者が存在する。区が掲げる住みなれた地域で安心して暮らし続けられる社会をどう実現するつもりか。

【答弁】 国有地などの活用を進め、特養ホーム整備を計画的に進める。

虐待防止への情報共有体制の強化

【質問】 子どもの虐待死を防げなかった事例の背景には関係機関の連携不足が挙げられる。区は必要な情報を漏れなく把握できるよう警察や学校との連携体制を強化せよ。

【答弁】 児童相談所移管後の新たな情報共有の取り組みを確実に行う。

中途半端な学校給食費の無償化

【質問】 区が進める学校給食費無償化の対象は全体の3分の1の世帯だけだ。無償化というのなら全区立校の全員を対象に実施すべきであり中途半端な無償化は撤回せよ。

【答弁】 保護者を初め、多くの区民の理解を得られるよう取り組む。

安部 ひろゆき 議員
(自 民)



高齢者の自立支援施策の充実

【質問】 高齢者の自立支援などの取り組みを推進する国からの31年度保険者機能強化推進交付金は約1億8000万円であった。これを取り組みが不十分な事業の推進に充てよ。

【答弁】 高齢者の自立支援や重度化防止などのさらなる充実に努める。

区の強引な教育費の負担軽減策

【質問】 区は教育費の負担軽減策は、食材料費を保護者負担とする国の教育費無償化の理念を否定する上、私立校に通う家庭を無視した不公平な施策だ。なぜ実施するのか。

【答弁】 義務教育を預かる区として、保護者の負担軽減を目指すものだ。

新しい庁舎への急速充電器の設置

【質問】 電気自動車は環境保全に加え、災害用電源としての機能も期待される。電気自動車のさらなる普及に向け、本庁舎整備では来庁者用急速充電器を必ず設置せよ。

【答弁】 配置場所や設置台数など、運営管理の課題も含め検討する。

津上 仁志 議員
(公 明)



地域でのフレイル予防の促進

【質問】 大東市は要介護手前の状態「フレイル」の予防として、健康増進に取り組む高齢者団体へ体力測定などを定期的に巡回実施し成果を上げている。これを区も行え。

【答弁】 健康度測定や健康指導の場の拡充などを検討していく。

高齢者の孤立防止

【質問】 都営下馬団地の建てかえでは住民の転居などにより、高齢者の見守りの担い手不足が懸念され

る。創出用地に見守りなどを行う福祉施設を常設し孤立防止を図れ。

【答弁】 見守りの居場所づくりなど、安心できる地域づくりを進める。

三軒茶屋駅周辺の地下空間の創出

【質問】 三軒茶屋駅周辺再開発では、歩行空間確保や回遊性向上が課題だ。課題解消に資する地下空間の創出に向け、再開発組合や鉄道事業者と具体的な協議の場を設けよ。

【答弁】 民間との意見交換の場を設けるなど、今後具体策を検討する。

佐藤 弘人 議員
(公 明)



区外へ的高齢者施設の整備

【質問】 高齢者の貧困が顕在化しており、低廉な住居の確保は喫緊の課題だ。区内の高齢者施設は利用料が高いため、区外での施設整備に向けた他自治体との協議を行え。

【答弁】 なじみのない土地への移住は心身への影響を含め課題がある。

紙おむつのリサイクルの実施

【質問】 紙おむつのごみはふえ続け、おむつ対策が急務だ。紙おむつのリサイクル技術を開発した事業者と連携協定を結び、リサイクル事業展開への具体的な検討を始めよ。

【答弁】 課題を解決し、事業展開の可能性を民間と連携して検討する。

雨水貯留浸透施設の整備推進

【質問】 西日本豪雨での甚大な被害を教訓に、豪雨対策を強化すべきだ。雨水の流出抑制を図るため、レインステーションなどの雨水貯留浸透施設の整備を一層進めよ。

【答弁】 豪雨対策モデル地区中心に雨水貯留浸透施設の整備を進める。

青空 こうじ 議員
(無所属)



危険なブロック塀の改善状況

【質問】 区が30年に通学路沿いのブロック塀の安全性を調査した結果、特に緊急性の高い箇所が15件あり、うち12件は手つかずのまま。改善に向けた取り組み状況を示せ。

【答弁】 所有者に再度要請し、3件は改善するとの意向を聞いている。

危険なブロック塀への対策の徹底

【質問】 通学路沿いのブロック塀の安全対策を放置し子どもの命を危険にさらすことは許されない。区の調査で判明した危険箇所845件全てにおける対策の実施を徹底せよ。

【答弁】 ハード、ソフト両面でさまざまな対策を講じ安全確保を図る。

ガリレオコンテストでの工夫

【質問】 ガリレオコンテストは、区立中学生が自然科学分野の研究を行い発表する素晴らしいイベントだ。子どもや保護者の参観者数を一層ふやすための工夫に力を注げ。

【答弁】 発表時の動画を学校で視聴可能とし校長会での周知に努める。

高岡 じゅん子 議員
(生 産 党)



電力購入での入札の成果

【質問】 再生可能エネルギー活用促進のメリットは環境面だけではない。公共施設で使用する電力の購入を24年から入札としたことによるこれまでの経費削減効果を示せ。

【答弁】 随意契約の場合と比較し12億円もの財源が生み出されている。

地域包括ケアシステムの充実

【質問】 富山型デイサービスは年齢や障害の有無にかかわらず誰もが利用できる。区もこの視点を取り入れ、地域包括ケアシステムを充実せよ。

【答弁】 世代や障害の有無を超えた地域交流を促進させ充実を図る。

世田谷清掃工場の建てかえ

【質問】 安定操業に莫大経費を要する世田谷清掃工場は建てかえが必要だ。当清掃工場のがス化溶融炉の廃炉を一般廃棄物処理基本計画に盛り込むよう清掃一組に求めよ。

【答弁】 計画に反映され、早期の建てかえが実現するよう働きかける。

山口 ひろひさ 議員
(自 民)



無償化がもたらす将来への懸念

【質問】 受益者負担の考えなしに持続可能な行政サービスは成り立たない。区は学校給食費一部無償化

を掲げたが、効果だけでなく将来の影響も慎重かつ十分に検証せよ。

【答弁】 施策の優先順位を見きわめ、持続可能な区政運営を心がける。

財政状況を踏まえた固定費の削減

【質問】 体育館のエアコン設置など、電力需要増が見込まれる。固定費削減は不可欠だ。本庁舎の自然エネルギー100%電力の拡大は割高料金状況であれば慎重に検討せよ。

【答弁】 競争入札により電気代の削減を図り、今後検証を行う。

AIを活用した健康寿命の増進

【質問】 健康寿命の延伸には、健康状態を正確に分析し、予測を立て支援していくことが重要だ。進展著しいAI技術を疾病予防や健康づくりに活用できるよう研究せよ。

【答弁】 健康寿命の延伸に向けたAIの活用について研究していく。

高橋 昭彦 議員
(公 明)



動物の命をつなぐ仕組みづくり

【質問】 高齢者が体調を崩し、ペットの飼育が困難となる例がある。在宅訪問事業の際に飼育状況を把握し、飼育困難となった場合に迅速に譲渡につなぐ仕組みをつくれ。

【答弁】 関係機関と連携し動物の命をつなぐ仕組みについて考える。

民泊を通じた国際交流の促進

【質問】 外国人観光客は日本人の暮らしに高い関心を持っている。住宅都市世田谷の強みを生かし、家主居住型民泊を通じた区民と外国人との国際交流を促進せよ。

【答弁】 身近な地域で、より多様な交流が促進されるよう検討する。

所有者が不明な土地への対策

【質問】 住民票の除票の保存期間が5年のため転居に伴い土地所有者の行方が把握困難となり、所有者不明の土地が生じる要因となっている。保存期間延長を国に求めよ。

【答弁】 国が保存期間延長を検討しており、その動向を注視していく。



小泉 たま子 議員
(希望)



児童虐待を予防する仕組みの構築

【質問】 児童相談所の設置は子どもの命を守る手段であって目的ではない。虐待ゼロを実現するため、地域や地区と児童館との連携により虐待を予防する仕組みをつくれ。

【答弁】 虐待発生の予防と早期発見、再発防止の徹底を図っていく。

まちづくりセンターのあるべき姿

【質問】 まちづくりセンターは単なる出先機関ではなく地区全体の安心安全を担う責任機関だ。地区の他施設と連携し、従来の機能を超えた総合的拠点として位置づけよ。

【答弁】 地区の他施設との連携も含めセンターの位置づけを検討する。

見守り合う子育ての実現

【質問】 区は見張り合う子育てでなく、見守り合う子育てに注力すべきだ。地区全体で虐待防止に取り組むために、地域の全区民が安心して暮らすためのビジョンを示せ。

【答弁】 地域ぐるみの子育て支援など、支え合う地域づくりを進める。

真鍋 よしゆき 議員
(自 民)



新たに設置する教育基金の目的

【質問】 今議会に世田谷遊びと学びの教育基金条例が提案された。当基金は海外派遣事業だけではなく、部活動での保護者の負担軽減など長年の懸案の解決にも十分生かせ。

【答弁】 さまざまな懸案の解決も視野に、より効果的な活用を考える。

京王線連立事業の推進

【質問】 千歳烏山駅周辺整備を頓挫させてはならない。京王連立事業に伴いやむなく移転する地権者の代替地確保に向け、取得した公有地の活用などあらゆる手を尽くせ。

【答弁】 既存区有地の活用も視野に再建地創出への体制強化を図る。

プレミアム商品券の一般枠の拡大

【質問】 プレミアム付区内共通商品券の実効性を高める取り組みが重要だ。商店街の振興につなげるた

め、区内共通商品券が広く流通するよう一般の予約枠を拡大せよ。

【答弁】 一般の予約枠は前年同様の2億円を想定し予算案に計上した。

おぎの けんじ 議員
(自 民)



適正人口に対する区の見解

【質問】 区の将来人口推計では生産年齢人口比率が下がり続ける中で、9年後には100万人に達すると示した。持続可能な区政運営のため、区には適正人口の想定はあるか。

【答弁】 現時点では、適正人口の想定は困難な状況にある。

実効性ある行政経営改革の断行

【質問】 予算案からは事業の縮小や廃止をする気が全く感じられない。予算編成時に継続事業の一定割合を減額し事業見直しを誘導するなど実効性ある行政経営改革を行え。

【答弁】 廃止を含めた事業の再構築を判断し、必要な改革に取り組む。

通学路の安全確保策の強化

【質問】 30年12月の桜町小児童のバスによる交通死亡事故は交通量が多く狭い通学路で起きた。再発防止に向け、警察やバス事業者と連携し通学路の安全確保に尽力せよ。

【答弁】 運行事業者の協力を得ながら庁内連携で安全対策に取り組む。

そのべ せいや 議員
(F 行 革)



ベビーシッターの利用促進

【質問】 ベビーシッターの利用を促進し、待機児解消を進めるべきだ。保育の質は担保した上で待機児の親へ利用料を助成する都のベビーシッター利用支援事業を活用せよ。

【答弁】 利用者への支援も含め、かわり方について検討していく。

区民の意見を活用した区政運営

【質問】 区の区民参加の仕組みは不十分だ。区民の参加と協働のまちづくりの推進に向け、都民の意見を直接施策に反映させる都の事業提案制度を区でも制度化せよ。

【答弁】 都を参考に、参加と協働の前進について取り組んでいきたい。

電子窓口の設置拡大

【質問】 区の申請手続の多くはいまだ来庁が必要であり極めて不便だ。区民の利便性向上に向け、まずは移動が困難な方の対面での確認が不要な手続から電子化せよ。

【答弁】 インターネットを活用した行政サービスの拡充を進める。

あべ 力也 議員
(減 税)



岡本住民の声で谷戸川歩道整備を

【質問】 岡本地区での谷戸川への張り出し歩道整備は住民意見を十分に聞いて進めるべきだ。要望書で左岸側への整備を求めた末整備区間に隣接する住民意見を優先せよ。

【答弁】 地域住民の意見を聞きながら、歩道の設置位置を検討する。

実効性ある虐待防止条例制定を！

【質問】 児童相談所の移管を見据え、子どもの命を守る仕組みの構築が急務だ。関係機関の虐待への対応を検証する組織を定めるなど、実効性ある虐待防止条例を制定せよ。

【答弁】 条例を含め区独自の取り組みを議論する必要があると考える。

重度身体障害者等の雇用創出を！

【質問】 重度身体障害者やひきこもりの区民が区職員として就労できる環境整備を進めるべきだ。ロボットによるアバターワーク等新たな就労形態と職場創出を検討せよ。

【答弁】 新たな就労形態を含め、テレワークによる就労も検討する。

ひうち 優子 議員
(世 田 谷)



介護予防プログラムの活性化

【質問】 高齢化社会の急速な進展を見据え、介護予防施策を推進すべきだ。区や区民が地域で行う介護予防活動に高齢者が自主的に参加しやすい仕組みづくりに取り組め。

【答弁】 地域の活動団体などと連携し介護予防の地域づくりを進める。

実効性の高い安全マップの作成

【質問】 通学路の安全対策を強化すべきだ。学校や保護者、地域が主体となって通学路の危険箇所を反

映した実効性の高い安全マップを作成し、子どもに注意喚起せよ。

【答弁】 独自の安全マップ作成の活動が広がるよう取り組む。

無電柱化のさらなる推進

【質問】 無電柱化は防災対策や景観の向上に有効だが、23区の整備状況は世界の都市と比べて大変遅れている。東京2020大会に向け無電柱化にスピード感を持って取り組み。

【答弁】 都の補助事業などを活用し、無電柱化の取り組みを一層進める。

河村 みどり 議員
(公 明)



買い物支援のさらなる充実

【質問】 多摩市では都と覚書を締結し、都営住宅内で市の選定した事業者による移動販売サービスを実施している。この手法の活用も視野に、買い物支援を一層充実せよ。

【答弁】 多様な制度や補助金の活用の可能性を探りながら支援を行う。

地域密着型サービスの周知強化

【質問】 認知症者の在宅生活に重要な役割を果たす地域密着型サービスは区民に十分浸透していない。支援が必要な人の利用につながるようサービスの周知を強化せよ。

【答弁】 サービスの利点などのPRに努め利用が広がるよう取り組む。

障害のある子どもへの支援充実

【質問】 発達障害児の個に応じた支援を充実すべきだ。少人数グループや個別指導できめ細かく自立活動を行える固定制の自閉症・情緒障害特別支援学級を開設せよ。

【答弁】 開設への検討を加速し障害のある子どもへの支援充実を図る。

羽田 圭二 議員
(立 民 社)



子どもの命と権利を守る仕組み

【質問】 児童が虐待で亡くなる事件が野田市で起きた。これを教訓に、子ども家庭支援センターと児童相談所が密に連携し子どもの命と権利を確実に守る仕組みを構築せよ。

【答弁】 子どもの尊厳、命、安全を守るセーフティネットをつくる。

障害者への偏見や差別の払拭

【質問】 障害者への偏見や差別のない社会づくりに注力すべきだ。交流を通じて障害者への理解が深まるよう、障害者と健常者、障害者同士の地域交流の場を拡充せよ。

【答弁】 広く障害理解の機会を設けるなど、共生社会の実現を目指す。

教員の働き方改革の推進

【質問】 国が示した教員の働き方改革案は残業時間規制が主で、終業時刻が管理されていない現場の実態に即していない。真に教員の業務負担軽減に資する改革を行え。

【答弁】 業務量に見合った人員体制の整備を図り、負担軽減に努める。

中塚 さちよ 議員
(立 民 社)



実効性ある介護人材確保策の実施

【質問】 介護人材の確保が急務だが、区が行う永年勤続表彰などの取り組みが介護人材定着に効果があるか疑問だ。介護現場の職員の声を踏まえ、実効性ある対策を講じよ。

【答弁】 事業者も参加する検討会を立ち上げ効果的な対策を検討する。

地域の特色を生かした施策の推進

【質問】 住民自治の確立には地域に密着した行政の展開が重要だ。支所で地域の特色を生かした施策を推進できるよう、支所長が柔軟に使える地域活性化予算を充実せよ。

【答弁】 特色を生かした事業を行えるよう予算面での対応も検討する。

子どものいない女性への支援充実

【質問】 少子化を背景に、出産に関して悩みを抱える女性は多い。生きづらさを感じることがないよう、子どものいない女性が集まり悩みなどを相談できる場を設けよ。

【答弁】 共通課題を持つ区民の交流支援など女性への支援を展開する。

ゆさ 吉宏 議員
(自 民)



重度障害者の地域生活基盤の強化

【質問】 障害者の地域生活の基盤強化が急務だ。今後、梅ヶ丘拠点障害者支援施設からの地域移行など

も見据え、重度障害者向けグループホームの整備を一層促進せよ。

【答弁】 重度障害者向けグループホーム整備の促進策の整理を急ぐ。

持続可能な区政に向けた財政運営

【質問】 区の2023年度までの中期財政見通しでは区債残高が基金残高を上回り、財政の硬直化が懸念される。持続可能な区政運営に向けた2024年度以降の財政運営方針を示せ。

【答弁】 社会経済状況を捉え確実に計画的に対応できるよう努める。

エリアマネジメンツの支援強化

【質問】 二子玉川エリアマネジメンツは法人化に伴い、社会への信頼性向上などが期待される。団体のさらなる発展に向け、地域活動の幅が広がるよう積極的に支援せよ。

【答弁】 都市再生法人の指定に向け、アドバイザー機能を発揮していく。

江口 じゅん子 議員
(共 産)



都道52号線整備の見直し

【質問】 都道52号線計画地域で反対世論が広がっている。住民不在の計画決定と合意形成無しの計画推進に、住民理解は得られていない。区長の受け止めと今後の対応は。

【答弁】 反対の声の背景には環境悪化などの不安があると考える。

砧地域に新たな交通手段を

【質問】 不便地域解消に向け、早期のモデル運行・実証運行を求める。課題は採算性であり、住民・企業・団体との協力・連携を進め、区としての経費補助も検討せよ。

【答弁】 都の補助金活用も視野に入れながら支援のあり方を検討する。

今後の区立保育園について

【質問】 区は来年度、「区立保育園の今後のあり方」による、統廃合計画を示す予定だ。保育の質を守り、地域の子育て支援の役割も期待される区立園の体制維持が必要だ。

【答弁】 人員体制や財源を確保し果たすべき役割を十分担っていく。



会派等の意見

31年度予算を審査するため、49名の議員で構成する予算特別委員会を設置し、3月6日から3月22日の間、延べ7日間にわたり質疑を行いました。
ここでは、予算特別委員会での質疑や要望、今定例会最終日に表明された31年度予算に対する各会派等の意見の一部を要約してお伝えします。

本会議での意見表明者

自由民主党世田谷区議団…上山おのり議員
公明党世田谷区議団…諸星 養一議員
世田谷立憲民主党…
社民党区議団…藤井 まな議員
日本共産党世田谷区議団…中里 光夫議員
無所属…
世田谷行革110番・プラス…田中 優子議員
せたがや希望の会…小泉たま子議員
生活者ネットワーク…
世田谷区議団…田中みち子議員
減税せたがや…あべ 力也議員
レインボー世田谷…上川 あや議員
せたがやすこやかプロジェクト…すがやすこ議員
世田谷無所属…ひうち 優子議員
無所属…青空こうじ議員



予算特別委員会での採決の様子

議会軽視の姿勢を改めない 区長に不信任の意を示す

―自由民主党世田谷区議団―

（一般会計には反対、その他の会計には賛成する意見）

今年4年の保坂区政の暴走と迷走を振り返りつつ、今定例会で明らかになった課題を指摘する。
特別区で最大の人口を誇る世田谷区は、自治権拡充を大命題とし、都区のあり方を初めとした議論を常にリードし、解決するという強い意気込みで臨むべきだ。また、区の財政力や人材育成力、職員の業務遂行能力を一層高め、自主自

律による自治体経営の土台を築くことはもちろん、議会と区長が切磋琢磨しながら緊張感を保ちつつ、90万区民の一層の福祉向上に向け、一丸となって取り組むべきだと我々はかねてより主張してきた。

そうした中、区長が再選直後の27年第一回臨時会の招集挨拶で、「区議会と区政は車の両輪であり、真摯な意見交換を重ね、区民生活を支える政策実現のために、区議会議員の皆さんと虚心坦懐に議論を深め、よりよき世田谷区政をつくり上げていきたい。」と声高らかに宣言したことから、区の一層の発展に向けた是々非々の議論を大いに期待していた。しかし、その直後から議会軽視とも言える複雑な区政運営が常態化し、我々の期待は見事に裏切られた。

その発端は、補助54号線のⅡ期・Ⅲ期区間を突如、優先整備路線から外した行為だ。みずからが策定したせたがや道づくりプランを否定するもので、施策に一貫性がないことを露呈したばかりか、これまで積み上げてきた住民との信頼関係を踏みにじる暴挙であった。

本庁舎等整備では、区長は全部改築を求める声が多い議会との合意形成に努めず、整備手法すらも第三者機関に委ねたことで、いたずらに時間を浪費した上に、多くの職員の労力と経費も無駄にした。

また、何の根拠もなしに現庁舎の中庭を囲む景観を世田谷らしさと勝手に決めつけ、その景観の継承にこだわる余り、整備手法が定まらないにもかかわらず、28年度当初予算案に庁舎の一部保存を前提とした調査費を計上するなど、区長の迷走、暴走ぶりが一層目立つようになつたのもこの時期である。

我が会派が議会の機能を発揮して「区政の停滞を招いている保坂展人区長に対し議会の存在を軽視する言動を改めることを求める決議」と「庁舎の一部保存を前提とした当初予算の修正案」を提出し、多くの賛同を得て可決した背景に

は、区長が議会の意見に耳を傾けずに施策展開する暴走行為が「地方自治の危機」だとの思いを強く抱いた議員が多数存在したからだ。しかし、我々の警鐘は区長に届かず、その後多くの会派が区民への周知不足などを指摘する中、区長は解決を図らずに区営住宅管理条例ほか2件の改正案を拙速に議会へ提出した。このような乱暴な議会対応を繰り返す区長に対し、議会としてはこれらの議案を閉会中の継続審査にせざるを得なかった。

学援助の現状を改善する対策を検討することなく学校給食費に係る費目の基準引き上げを強行実施するなど、一部の有権者の顔色をうかがうかのように、中途半端に施策展開する悪癖は治っていない。これでは90万区民全員幸福を見据えた区政運営とは到底言えない。これまで我々は行政の継続性と安定性を重視し、また区議会第一会派の責任として区民生活を守り、一時たりとも混乱させてはならないとの信念から、当初予算案に反対してこなかったが「参加と協働」を標榜していながら議会の軽視が続ける区長を、これ以上、信任することはできない。中途半端で複雑な区政運営を繰り返す区長に対する不信任の意を示すため、31年度一般会計予算案に反対する。

前例を打ち破り発想を転換する 眞の行政改革に取り組め

―公明党世田谷区議団―

（全ての会計に賛成する意見）

31年10月の消費税増税に加え、実質賃金や個人消費の伸び悩み、地方法人税の国税化の拡大、ふるさと納税による減収など、区財政は決して予断を許さない状況だ。

必要な事業に対して公共が担うべきなのか、民間に委ねるべきなのかを明確にしながら、児童相談所移管のこの機を捉え、前例を打ち破り、発想を転換する眞の行政改革に危機感を持って取り組め。

以下、我々が最重要課題と考える施策について意見を述べる。
第1に、未来ある子どもへの投資と教育負担の軽減についてである。我が党は2年にわたり、幼児教育の無償化、学校給食費の無償化、児童館未整備地区の解消、休日及び夜間の認可保育園の開設、新BOP学童クラブの運営時間の延長を求めてきた。長期的な視点に立てば教育への投資は最大の成

長戦略となることから、これら5つの政策を着実に推進せよ。

第2に、大介護時代の到来に備えた認知症の人にやさしいまちづくり条例の制定についてである。

我が党は認知症者支援に係る条例の制定を求め、区長は前向きな姿勢を見せた。今後早急に認知症施策の推進体制を整備しなければならぬことを踏まえ、よりスピード感を持つて条例化に取り組め。

第3に、国際交流の推進についてである。区はせたがや文化財団の一事業部として国際交流を推進する体制を構築予定だが、理念や連携の議論のみで、20年の本格実施の方針すら全く白紙の状態だ。区の地域特性をどう生かしどの分野に視点を絞って国際交流を進めていくのか、また、どの都市と交流を進めていくのかを明確にした上で、関係機関や地域団体との具体的な意見交換を行うため、早急に今後の方針を打ち出せ。

第4に、観光戦略についてである。他自治体では東京2020大会を好機と捉え、さまざまな観光戦略を打ち出しているが、区は映像発祥の地という絶好の地域資源を生かした観光戦略の構築には至っていない。事業を担っている産業振興公社の税金依存体質を変革できないのであれば、組織のあり方を早急かつ抜本的に見直せ。

第5に、公共事業を担う建設業への人材確保支援についてである。少子高齢化が進む中、高齢者や障害者のセーフティネットとして住環境の果たす役割は大きい。住まいとインフラを支える建設業の担い手不足が深刻化しているため公共事業を担う事業者への支援に尽力すべきだ。特に若者や女性、外国人への就労支援や定着支援を強化するなどあらゆる手段を講じよ。

数年後には区の人口は100万人に達する見込みであり、23区の先頭に立った理想の自治体のあるべき姿を構築すべきだ。東京2020大会を控え、本庁舎整備も始まる新しい

時代がスタートする。このような時こそ、区長を初め職員と議会が、生まれ変わった姿で真摯に向き合いチャレンジすること強く望む。

施策の達成目標を明確に設定し 未来を見据えた区政運営を進めよ

―世田谷立憲民主党 社民党区議団―

（全ての会計に賛成する意見）

2期目の保坂区政が独自色を出し、他区ではまねできない取り組みを進めたことを評価する。

区は202年までに障害者の法定雇用率を達成するとしながら誤算定を招き、2019年度目標が未達成だったことを猛省せよ。福祉作業所で働く障害者の賃金向上に取り組め。

プレミアム付区内共通商品券の発行額を12億円から9億円に減額したが、その効果検証はいまだ不十分だ。商品券の発行はやめ、区内産業全体に資する政策を示せ。需要の増加が見込まれる介護現場で有効な人材確保策を打ち出せ。100%再生可能エネルギーでの事業運営を目標に掲げる「REE100」自治体になることを目指せ。

住宅確保要配慮者支援を進めよ。新聞教育などのリテラシー教育を導入した教科日本語は大幅に内容が変わった。この機に教科名称を変え、シチズンシップ教育を初め子どもへの権利条約を取り入れた授業や将来を考える授業に見直せ。4月からの特別支援教室の全校設置に際し、不足している学校包括支援員の増員を図るとともに、支援要員との連携強化を促せ。

我々が求めてきた給食費などの教育の無償化はその恩恵が広く行き渡る普遍主義の視点で進めよ。

遊びと学びの教育基金の創設に当たり、議会で補正予算が可決されることを前提に31年度当初予算案を提出したことは、議会軽視と言わざるを得ない。教育委員会はこれを猛省し、その姿勢を改めよ。



予算特別委員会の模様をホームページで録画配信しています。

世田谷区議会 議会中継 で検索！

31年度予算に対する

社会保障の後退から区民を守り
福祉施策の充実に全力で取り組み

ー日本共産党世田谷区議団ー

（国保会計と後期高齢者会計には反対（一般）
会計と介護会計と給食会計には賛成する意見）

我が党は区民と力を合わせ、保坂区政を進めるため奮闘し、区民の暮らしを守るために消費税増税の中止、国保料や介護保険料の引き下げの実現に向け全力を挙げる。

区が31年度予算案で保育園整備や就学援助の拡充、高齢者施設の整備など暮らしを守る施策を進め、安易な区民負担増ではなく、効率的な区政運営などで制度改正の実現を目指すとしたことを評価する。

自民党は区民サービスの廃止や縮小を求め、大型道路の整備を迫っている。暮らしや福祉を切り捨て、大型開発を優先する自民党区政への後戻りは許されない。

公明党は区立保育園と児童館などの民営化を再三求めているが、区立園は区の保育行政の根幹を支えており、児童館とともに児童虐待予防でも大きな役割を担っている。児童相談所の移管に伴いさらなる役割が期待され、行政力とネットワークの強化こそが必要であり、民営化は認められない。

区民の暮らしを守るため、次期区政に提案する。国保料や介護保険料の引き下げなどの負担軽減を図るとともに、国に制度改正を働きかけよ。子どもの命を守るため、身近な地域での子育て支援体制の拡充と、子ども家庭支援センターや区立保育園などのネットワークの強化を進めよ。区民の命と財産を守るため、住宅の耐震化を促進し、耐震シェルターなどの普及も進めよ。非常用電源装置の整備など避難所機能を強化せよ。



「暴力は犯罪」との認識に立ち
全ての暴力を根絶せよ

ー無所属・世田谷行革110番・プラスー

（全ての会計に賛成する意見）

31年度一般会計予算案に盛り込まれた「本庁舎等整備」と「児童相談所の開設」は区政の未来を左右する極めて重要な案件だ。

首都直下地震が懸念される中、災害対策機能の中核を担う本庁舎整備のおくれは許されない。景気が後退し新元号開始早々という局面で国が予定通り消費税増税を行うかなど、財源に悪影響を与えない要因が多い中、区が今後の非常事態に応じて改良可能な基本設計案を作成したことを評価する。

我々は教育現場での講師の暴力問題を再三指摘してきたが、全国で相次ぐ児童虐待事件から家庭でも暴力が横行している実態が浮き彫りになった。児童相談所を開設し、暴力から子どもを守る対策に尽力せよ。また、全国の高齢者虐待件数が過去最多となったことも踏まえ、区長は「暴力は犯罪」との認識に立ち乳幼児から高齢者まで全世代における暴力を根絶せよ。

さらに、幹部職員に暴言を吐くなどパワハラともとれる態度で職員に接する議員がいることが我々の予算質疑の中で明らかとなった。区は熊本市の例に倣い、政治倫理審査会の設置を検討せよ。

区は議会軽視の姿勢を改めよ

ーせたがや希望の会ー
（全ての会計に賛成する意見）

人口増による税収増を見込むだけでなく、それに伴う支出増も分析し、将来を見通した施策を行え。児童虐待の単なる相談充実は対症療法であり、目的と手段を混同している。虐待ゼロを目指し、見守り合つまちの実現に力を尽くせ。弱者対策を政策の中心に据える

のではなく、区民一人ひとりの自立への支援を区政の基本とせよ。

区が区民の代表である議員への議会答弁において「区民の意見を聞いて進める」などと言ったことは、議会の権能をないがしろにするものである。姿勢を抜本的に改めよ。

誰一人取り残さない区政を進めよ

ー生活者ネットワーク世田谷区議団ー
（全ての会計に賛成する意見）

区債発行は真に必要な事業に限定せよ。区施設の長寿命化を進めよ。SDGsの視点で寄附文化を醸成し健全財政を維持せよ。女性の多様な働き方が可能となる環境を整備せよ。子どもの権利を保障する取り組みを行え。児童相談所を開設し虐待の連鎖を断ち切れ。

里親や養子縁組の推進体制を築け。官民連携で買い物支援や交通不便地域対策を行え。ユニバーサルデザインを推進せよ。プラスチックごみ発生抑制を図れ。教員の多忙化と保育待機児を解消せよ。東日本大震災の被災者支援を充実せよ。

区民の参加と協働で施策展開せよ

ー減税せたがやー
（全ての会計に賛成する意見）

地域行政の推進に係る条例の制定に当たっては、区民の草の根の活動が文化の世田谷の構築につながるよう、参加と協働のあり方を明確に示せ。文化系事業の財源確保にふるさと納税やクラウドファンディングを一層活用せよ。区長は退職金を受け取る方針を改めよ。

多様性を尊重した施策を展開せよ

ーレインボー世田谷ー
（全ての会計に賛成する意見）

保育園入園選考書類などの父母の表記を保護者に変更せよ。区立校の制服着用は弾力的に行え。差別に係る相談窓口や障害者差別の紛争処理制度を区民に広く周知せよ。障害者手帳取得のための診断料助成を見直せ。罹災証明書発行業務は効率性の高い仕組みとせよ。

安心して生活できる環境を整えよ

ーせたがやすこやかプロジェクトー

（全ての会計に賛成する意見）

就学援助の申請率向上を図れ。給食費無償化での所得制限をやめよ。子どもの個性や才能を生かす教育を充実せよ。多様な保育需要に応えよ。無電柱化を進めよ。狭あい道路を解消せよ。みどり率向上を図れ。新たなドッグランを整備せよ。スポーツ環境を充実せよ。

官民連携で魅力的な公園をつくれ

ー世田谷無所属ー
（全ての会計に賛成する意見）

野毛町公園拡張整備に合わせたカフェ誘致など、官民連携で魅力的な公園整備を進めよ。自転車活用推進計画を策定せよ。条例で自転車保険の加入を義務づけよ。自転車ロードレースを開催せよ。保育園改修時の安全対策を徹底せよ。専門家と連携し空き家対策を行え。

登下校時の子どもの安全を守れ

ー無所属ー
（全ての会計に賛成する意見）

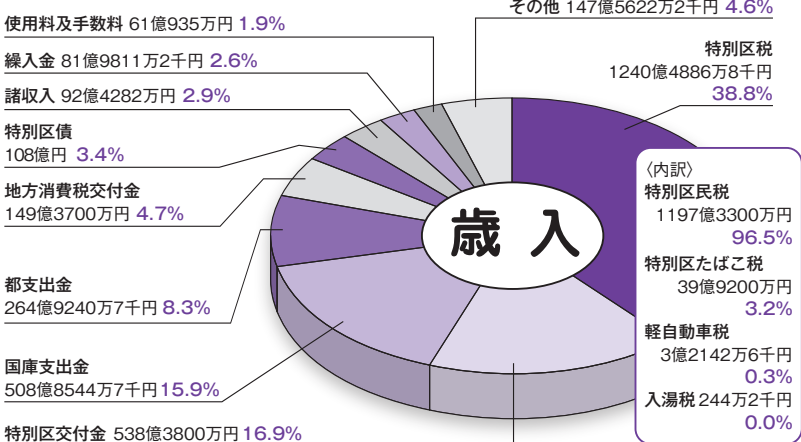
2分の1成人式と14歳の成人式は多くの児童生徒や保護者、地域の方が参加できるよう工夫せよ。登下校時の子どもの安全確保に向け、小中学校や地域と連携した実効性ある対策を講じよ。平和のとうとさを次世代に継承するため、平和の花運動を一層充実せよ。



平成31年度各会計予算

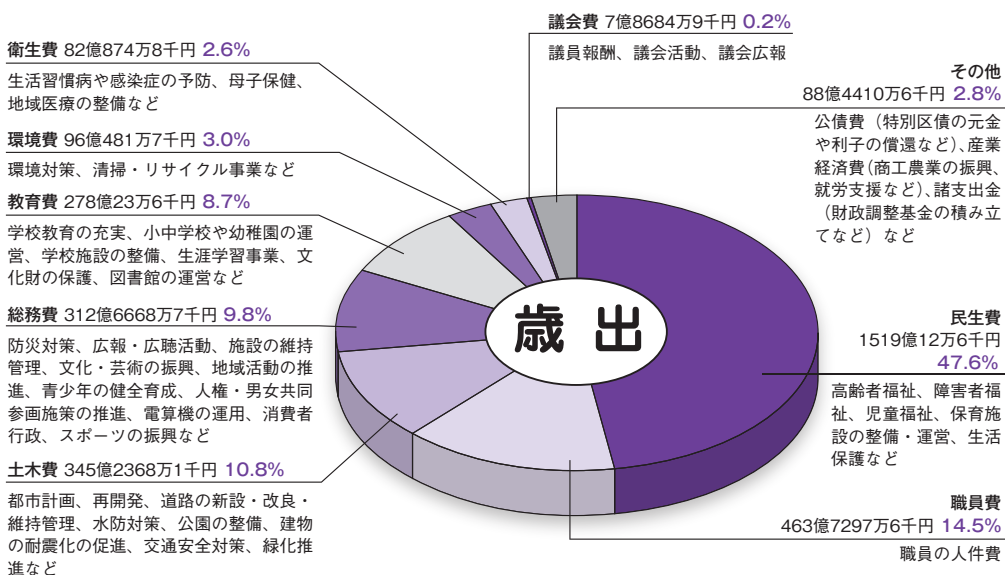
内 容		対前年度比増減率(%)
一 般 会 計		3193億822万6千円 5.8
特別会計	国民健康保険事業会計	823億3041万3千円 -2.5
	後期高齢者医療会計	213億2634万円 3.0
	介護保険事業会計	724億2517万3千円 5.2
	学校給食費会計	29億8032万円 4.1
計		4983億7047万2千円 4.1

一般会計予算の内訳（％＝構成比）



※構成比（％）は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります。

平成31年度 予算のあらまし



第2回定例会は6月に開催する予定です

（↑ページからの続き）

○公衆便所条例
（全員賛成）

（全員賛成）

条例名及び条文中の「便所」を「トイレ」に変更するとともに、

下北沢南口公衆トイレ（北沢2-20先）を新設する。

○道路占用料条例
（全員賛成）

（全員賛成）

道路占用料を改定する。

○学校設置条例
（全員賛成）

（全員賛成）

若林小の位置を若林5-27-18に、代沢小の位置を代沢5-1-10に変更する。

●工事請負契約の締結 6件

○特別養護老人ホーム上北沢ホーム改修工事
（全員賛成）

（全員賛成）

工事項名	相手方・契約金額
改修	株式会社儘田組 一億八三〇六万円
電気設備	米沢・石野 建設共同企業体 五億五二二万四千円
機械設備	温調・杉山 建設共同企業体 八億一六四八万円

工期Ⅱ32年3月16日

○仮称区営豪徳寺アパート1号棟新築工事
（全員賛成）

（全員賛成）

工事項名	相手方・契約金額
新築	株式会社中島建設 東京支店 五億二九〇九万二千円

工期Ⅱ32年10月1日

○総合福祉センター後利用施設改修工事
（全員賛成）

（全員賛成）

工事項名	相手方・契約金額
改修	ハザマ・エンジニアリング株式会社 二億八五二二万円
電気設備	旭・大新 建設共同企業体 二億七九一八万円

工期Ⅱ32年2月14日

●損害賠償額の決定 1件

○自動車事故に係る損害賠償額（全員賛成）

（全員賛成）

30年に瀬田5-21先路上で発生した自動車事故の損害賠償額を決定する。

●財産の取得 1件

○区立上用賀公園拡張用地（全員賛成）

相手方Ⅱ国

買収面積Ⅱ八九七三・四五㎡

買収金額Ⅱ五六億四六〇〇万円

所在地Ⅱ上用賀4-10-124

●訴えの提起 1件

○区営住宅の明渡し及び使用料等の支払に係る訴えの提起（全員賛成）

（全員賛成）

区営住宅の使用料などを滞納している個人に対し、住宅の明け渡しと滞納使用料などの支払いを求める訴訟を提起する。

●和解 1件

○区営住宅の明渡し及び使用料等の支払に係る和解（全員賛成）

（全員賛成）

区営住宅の使用料などを滞納している個人と和解するため、訴え提起前の和解の申立てを行う。

●議員提出議案 2件

○区議会委員会条例（全員賛成）

（全員賛成）

組織改正に伴い、常任委員会の所管を変更する。



議会日誌

閉会中に開催された委員会

30年12月18日(火) 企画、区民、文教
19日(水) 福祉、都市
20日(木) 議運
31年1月24日(木) 議運
2月4日(月) 企画、区民、文教
5日(火) 福祉、都市
6日(水) 分権、災害、オリパラ、交通
12日(火) 議運

会期中の主な会議日程

2月20日(水) 本会議（代表質問）、議運
21日(木) 本会議（代表質問、一般質問）
22日(金) 本会議（一般質問、議案の付託、請願の付託など）、予算
25日(月) 企画、区民、文教
26日(火) 福祉、都市
27日(水) 分権、災害、オリパラ、交通
3月1日(金) 本会議（議案の議決、議案の付託）、議運
6日(水) 予算（総括質疑）、福祉
7日(木) 予算（企画総務委員会所管質疑）
11日(月) 予算（区民生活委員会所管質疑）
12日(火) 予算（福祉保健委員会所管質疑）
14日(木) 予算（都市整備委員会所管質疑）
19日(火) 予算（文教委員会所管質疑）
22日(金) 予算（補充質疑）
27日(水) 本会議（議案の議決、請願の付託など）、議運

委員会名称

企画＝企画総務常任委員会 区民＝区民生活常任委員会
福祉＝福祉保健常任委員会 都市＝都市整備常任委員会
文教＝文教常任委員会 議運＝議会運営委員会
分権＝地方分権・本庁舎整備対策等特別委員会
災害＝災害・防犯・オウム問題対策等特別委員会
オリパラ＝オリンピック・パラリンピック・環境対策等特別委員会
交通＝公共交通機関対策等特別委員会
予算＝予算特別委員会

インターネット議会中継をご利用ください

本会議と予算・決算特別委員会の模様を区議会ホームページで、ライブ配信しています。

ライブ映像は、会議終了後、当日のうちに録画映像としてご覧いただけます。議員ごとに編集した映像は、会議のあった日からおおむね1週間後に配信します。

インターネット議会中継は、パソコンだけではなく、スマートフォンでもご利用いただけますので、臨場感あふれる映像をぜひご覧ください。



○政府に核兵器禁止条約の署名と批准を求める意見書

賛成多数 賛成Ⅱ立民社、共産、F行革、集、滅模、虹
反対Ⅱ自、公明、希望、無所属

●予算特別委員会の設置と委員の選任

（全員賛成）

31年度予算を審査するため、予算特別委員会を設置し、49名の議員を委員として選任する。

請願

皆さんから新しく出された請願陳情をお知らせします。

◆区民生活常任委員会に付託 1件

○選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書を国に提出すること

を求める陳情

◆福祉保健常任委員会に付託 1件

○東京都議会から国へ交通運賃割引制度に関する意見書を提出するよう働きかけることを求める陳情

正副委員長互選結果

○予算特別委員会

委員長 安部ひろゆき（自民）

副委員長 津上仁志（公明）

副委員長 そのべせいや（F行革）



2月にオープンした希望丘複合施設(船橋6-25-1)

編集後記

○今定例会では、36名の議員が、児童虐待防止に向けた対策の強化や区内産業活性化策の推進など、区政のさまざまな課題について質問を行いました。

○区議会定例会は、2、6、9、11月の年4回開かれます。本会議や予算・決算特別委員会が開催される際には、その模様をホームページでライブ配信するほか、お好きな時間にご視聴いただける録画配信も行っています。また、区役所第1・第3庁舎、総合支所、市民活動支援コーナー（キャロットタワー3階）のテレビでも放送します。ぜひご覧ください。

○区議会だよりのテープ版とディジー（CD-ROM）版を発行しています。視覚障害のある方などで希望される方には定期的ににお送りしますので、ご希望の際は区議会事務局調査係までご連絡ください。なお、過去1年以内の発行分については区立図書館で貸し出していますので、ぜひご利用ください。また、区議会だよりの点字版も発行しています。こちらも区立図書館で貸し出していますのでぜひご利用ください。

○お問い合わせやお気づきの点がありましたら、区議会事務局調査係までお寄せください。

TEL (5432) 2779
FAX (5432) 3030

本紙に掲載された質問、答弁などの詳しい内容については、会議録（本会議の分は5月中旬、予算特別委員会の分は6月上旬の発行予定）をご覧ください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所、まちづくりセンターなどに備えてあります。また、ホームページでもご覧いただけます。